

# メンデル特別展

## 1. 意図

メンデル特別展が、諏訪湖博物館/赤彦記念館(長野県下諏訪町西高木)で、来る10月8日より12月18日まで開かれます。目的は、日本メンデル協会が持っている遺伝学の祖メンデル(Gregor Johann Mendel, 1822-1884)の資料を公開して、併せてメンデルの人と彼の発見のドラマについて広く知っていただくものです。諏訪湖博物館は、諏訪湖に面しており(右図)、建築家伊東豊雄の設計になるユニークな建物です。また、当協会の活動の一部も紹介いたします。

諏訪湖博物館



## 2. 展示資料

当協会の創立者篠遠喜人博士(東京大学遺伝学教授、のちに国際基督教大学学長)は、メンデルの人となり、その故地、また、遺伝法則の発見の経緯に特別な興味を持っており、関連資料は当協会に保有されております。また、先輩諸氏はメンデルの故地であった様々な催しに参加し、それらの記録を残しております。貴重なものもありますので、ぜひ一般公開し、広く皆様にも見ていただきたいと思い、今回の企画をいたしました。

また、これに関して1914年以来東京大学小石川植物園で栽培されているメンデルブドウにはぜひとも触れねばなりません。というのは、現地のブドウは第二次大戦後ソ連の傘下に入ったブルノでは、途絶えてしまったからです。そして、1989年のベルリンの壁の崩壊後、日本に残っていることを知られたブルノの人々より、里帰りを要請され、現地にもたらされました。幸い送り返した株は順調に成育し、多くの房をつけたという連絡を受けており、その概況も説明いたします。また、これには多くの政治ドラマが関係しておりますので、それらも紹介いたします。

小石川植物園のメンデルブドウ



メンデルにより作成されたシダ標本



篠遠博士



## 3. メンデルの生涯と遺伝法則の発見

メンデルは、1822年チェコ・シレジアのヒンツェーツェ(旧名ハインツェンドルフ)に生まれ、オパバの中等学校を経て、セント・トーマス修道院の修道士となり、ブルノの高等実科学学校の教員としても働きました。後に、セント・トーマス修道院長に選出されましたが、1884年に亡くなりました。1885年に、8年にわたるエンドウの交配実験の結果から導き出して法則性について報告しました。その翌年、その結果についての論文をモラビア科学協会の紀要に発表しました。しかしながら、その成果の意味を同時代人は理解することなく、年月が経過しました。

修道院長メンデル



## 4. メンデル法則の再発見と遺伝学の成立

1900年になって、ヨーロッパの三人の科学者(ドイツのコレンス、オランダのドフリース、オーストリアのチェルマック)により、メンデル法則は再発見されました。再発見のドラマとその背景は、本展示においても紹介されます。その結果、遺伝学という新しい学問領域が展開し、古典的遺伝学が成立し、その基礎の上にその後の分子遺伝学、分子生物学が発展することとなりました。

メンデル像

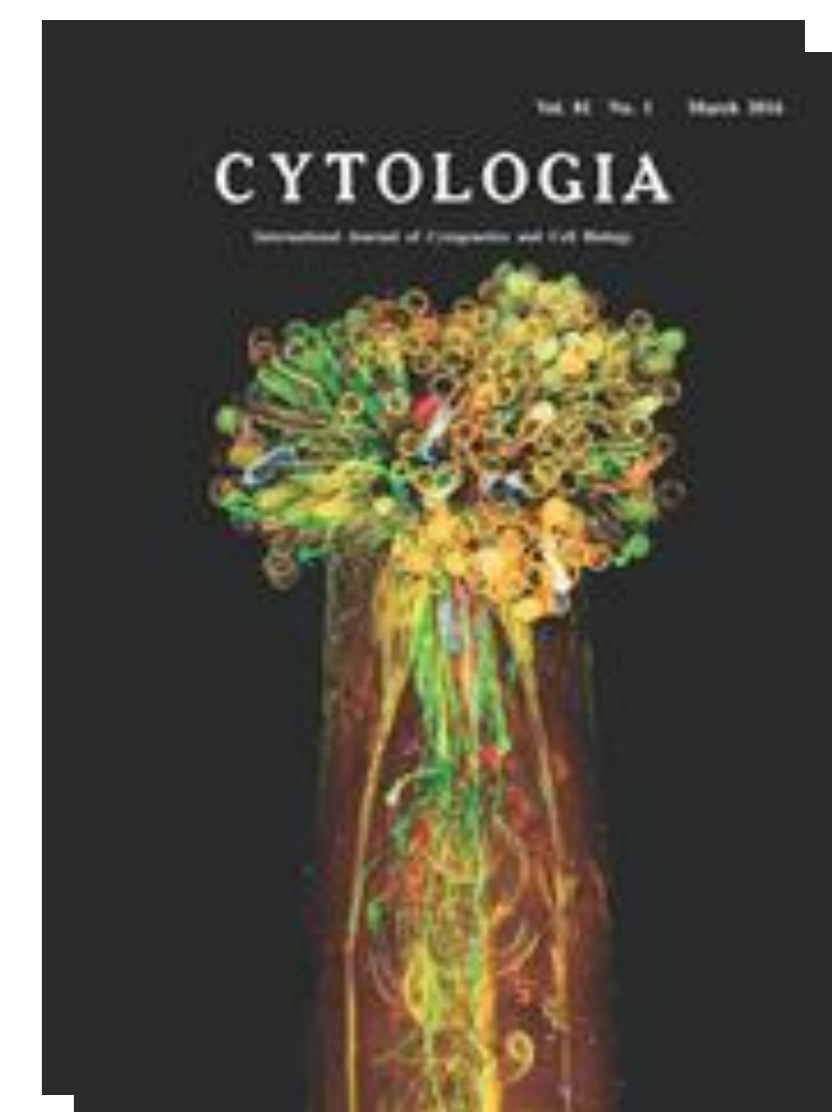


## 5. 日本メンデル協会

日本メンデル協会は、篠遠喜人博士により1984年に創立されました。なお、協会の最も主要な活動は欧文誌CYTOLOGIAの刊行ですが、これは1929年に藤井健次郎博士により創刊されました。その業務は1990年日本メンデル協会に移譲されました。CYTOLOGIAは、染色体などの細胞遺伝学を主領域とする国際学術誌ですが、日本で刊行されている欧文誌の中では、外国からの投稿が大変多いことが特徴です。この背景のもと、投稿された優れた論文には和田賞を授与するようになりました。受賞者はS.S. Alam博士(右下図)、A. Tanomtong博士、V.C. Singhal博士、R.C. Gupta博士ですが、それぞれバングラデシュ、タイ、インド(2名)の方々です。日本の放医研の数藤由美子博士にも授与されました。

なお、12月3日には、酒泉満教授(新潟大)により「メダカ」、草場信教授(広島大)に「メンデルの遺伝子」、数藤由美子博士(放医研)には、「放射線の染色体に及ぼす影響」についてお話ししていただきます。その会場は町民センターです。このほか、10月8日には長田敏行会長によりギャラリートークが行われ、11月12日には河野重行副会長により、ギャラリートークが行われます。また、日本メンデル協会成立の経緯についても紹介されております。

最後に、チェコ共和国メンデル博物館のMatalova教授よりいくつかの写真が提供されたことに謝意を表します。website <http://square.umin.ac.jp/mendel/index-e.html>



CYTOLOGIAの最近号より



第一回和田賞受賞者 Prof. Alam(右)